

カーボンニュートラルの実現に向けて セメント袋の中間層にバイオマスプラスチックを導入

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文）は、セメントの出荷形態の一つである袋製品（以下、セメント袋）の中間層において、これまで使用していた化石資源由来のプラスチックフィルムに代えて、業界で初めて植物由来原料のバイオマスプラスチックフィルムを用いたセメント袋を導入いたしました。

現在、プラスチックはその機能性の高さにより、人々の生活に多大な利便性と恩恵をもたらしている一方で、我が国の化石資源事情や海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題等との関連も指摘されております。このような状況の中、化石資源をはじめとする枯渇性資源の使用量削減、温室効果ガスの排出抑制を実現していくための必要な施策として、バイオマスプラスチックの利用が注目されています。

セメント袋はセメントの品質維持のため多重構造となっており、中間層にはプラスチックフィルムが使用されています（図1）。当社は2050年のカーボンニュートラル実現に向けて取り組んでおり、その施策の一つとして、セメント袋中間層に注目し、バイオマスプラスチックを利用するべく研究開発を進めた結果、この度の導入に至りました。

セメント袋中間層に用いるバイオマスプラスチックは、製造の過程で必要な成分の一部に化石資源由来の原料を用いていますが、主たる成分を植物由来（サトウキビ）のものに全量置き換えたものです。現状のプラスチックを用いた中間層と比較して、新しい袋の性能（充填性、強度、防湿性など）に何ら変わりのないことを確認しております。このセメント袋は主要な材料である紙を含め、95%以上が植物由来のカーボンニュートラルの素材で構成されることとなります。当社はバイオマス素材の認証マーク（図2）を取得することによって、ユーザーの皆様におかれましても、サプライチェーンの低炭素化を実現できるものと考えています。

この度のセメント袋のバイオマスプラスチック化は、化石資源の使用量削減、CO₂削減に寄与できるものです。当社はこの袋の使用を一部の地域から段階的に開始し、早期に従来品からの置換完了を目指すことで、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、さらに取り組みを進めてまいります。

＜本件に関するお問合せ先＞
太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ
TEL. 03-5801-0334 FAX. 03-5801-0344

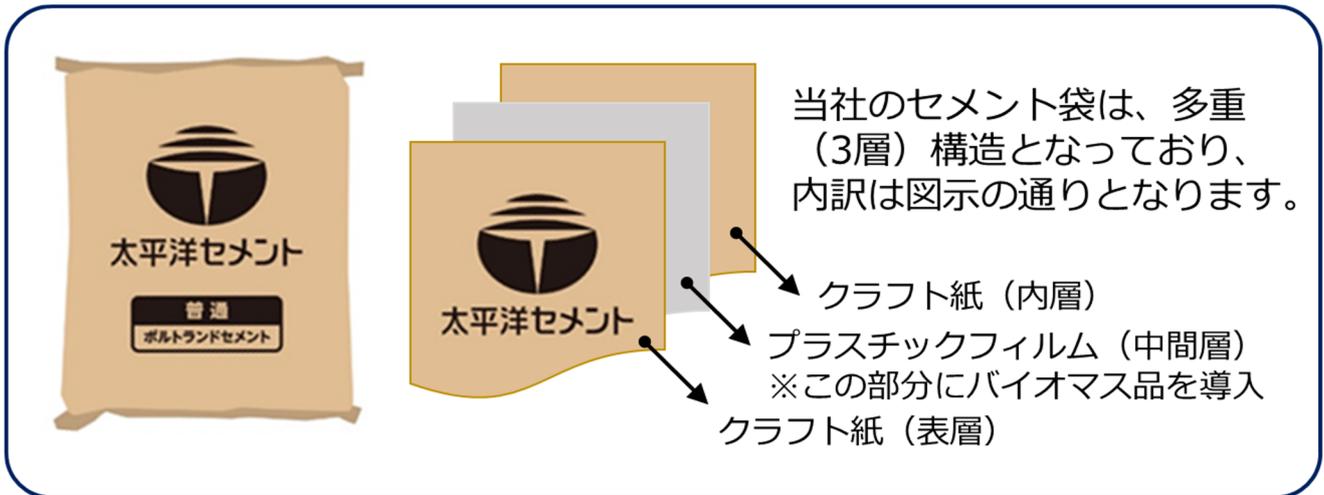


図1 セメント袋のつくり（模式図）



図2 バイオマス素材に対する認証マーク